

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	海外デザイン研修 1	
科目基礎情報							
開設学科	建築学科		コース名			開設期	通年
対象年次	1年次		科目区分	選択		時間数	30時間
単位数	1単位		授業形態	実習			
教科書/教材	教員配布資料						
担当教員情報							
担当教員	真田一穂			実務経験の有無・職種		有・建築設計	
学習目的							
海外の建築を肌で感じ、体験する。現地の文化に触れ、その場でしか味わえない発見や体験を重ねることは建築を学ぶ学生にとって貴重な財産となる。本校ではカリキュラムの一環としてヨーロッパを中心とした海外デザイン研修を隔年開催する。多くの刺激を与えてくれる海外研修、その主な行き先は、フランスパリ、スペインバルセロナ、マドリード。海外デザイン研修では次の3点を学習目的とする。①海外の建築、都市空間を実際に体験し建築デザインの感性を磨く。②異文化の体験、交流を通じた人間形成。③集団行動を通じ社会性を身につける。							
到達目標							
海外デザイン研修中は、研修訪問先の建築、街を体感し、知識と見聞を広める。また、現地国立建築大学準備校（Preparation aux Ecole d'Architecture）の学生たちとの交流を通じ、コミュニケーション能力の育成を図る。建築技術者としての倫理観、建築に関する応用能力、チャレンジ精神等、建築を学ぶ人間としてバランスとれた感性を持つことを到達目標とする。							
教育方法等							
授業概要	希望者のみ開講し、隔年開催とする。2019年度は開催しない。（夏季、春季等の休業中に実施する）事前研修で学習した各地の建築、街、観光バス、地下鉄、徒歩により訪問する。訪問先により全員行動とグループ行動がある。全員行動では引率教員、現地ガイドと共に行動し、主に観光バスで移動し各地を訪問する。グループ行動では、引率教員、ガイドとは別行動とし、班単位で行動する。事前に学習した各班ごとの目的訪問地を班長、副班長の指示に従い訪問する。研修後、解散会を行い海外デザイン研修の報告会を行う。						
注意点	訪問先の街で様々な体験をする。日本の空港から一歩外に出れば、そこは外国である。パスポートを安全に所持することから始まり、訪問先で、日本では体験することのできない様々な出来事にも遭遇する。一人一人がしっかりとした自覚を持ち行動すること。また研修中はすべて団体行動であり、引率教員、旅行会社及び現地ガイドの指示に従い、規律のある行動が求められる。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	レポート	70%	研修レポートを総合的に評価する				
	平常点	30%	研修中の積極的な研修参加度、研修態度によって評価する				
授業計画							
回	授業内容			各回の到達目標			
1 回	2019年度は開催しない						
2 回							
3 回							
4 回							
5 回							
6 回							
7 回							
8 回							
9 回							
1 0 回							
1 1 回							
1 2 回							
1 3 回							
1 4 回							
1 5 回							